

# 平成25年12月三木市教育委員会（定例会）会議録

## ◇ 日 時

- 1 開 会 平成25年12月19日（木）午後3時00分
- 2 閉 会 平成25年12月19日（木）午後4時45分

## ◇ 場 所 三木市役所 2階 職員厚生室

## ◇ 会 議

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 会議録の承認
- 4 審議事項
  - (1) 報告事項
- 5 その他
  - (1) 次回定例教育委員会の開催日時について
- 6 閉 会

## ◇ 会議に出席した者の職氏名

教育委員	1番	教 育 委 員 長	里 見	俊 實
	2番	教育委員長職務代行者	水 島	慶 子
	3番	教 育 委 員	稻 見	秀 穂
	4番	教 育 委 員	井 口	徹
	5番	教育委員（教育長）	松 本	明 紀
事務局		教 育 部 長	山 本	公 大
		教 育 総 務 課 長	石 田	寛
		教育環境整備課長	井 上	博 務
		学 校 教 育 課 長	古 谷	昭 文
		文化スポーツ振興課長	松 村	正 和
		教育センター所長	梶 本	佳 照
		図 書 館 長	告 野	幹 也
		市 民 協 働 課 長	木 村	巧
		教育総務課主査	石 田	英 之
		教育総務課主任	堂 元	誠 二

傍聴者 0人

## ◇ 会議内容

### 1 開 会

委員長が、平成25年12月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

\*\*\*\*\*

### 2 会議録署名委員の指名

委員長が、本日の会議の会議録署名委員に、稲見委員と井口委員を指名した。

\*\*\*\*\*

### 3 会議録の承認

(稲見委員) 11月定例会の会議録については、これで問題ないと思うが、会議録の中で質問に対する回答が明確でない部分がある。会議録のまとめ方についても、話し言葉をそのまま書くか、発言の要旨をまとめるのか、検討する必要があると考える。

(井口委員) 私たちは会議に出席しているため会議録の内容を理解しやすいが、市民が読んで理解できるのかなと感じる部分がある。

(里見委員長) 会議録については、基本的には発言の要旨をまとめて記載するべきであると考え。委員からの質問があった場合には、そうなのか、違うのか、それとも今はわからないのか、会議録に明確に記載していただきたい。質問に対して答える人も、中途半端な答えではなく、明確に答えていただきたい。答えが難しいときもあると考えるが、答えられないときは、答えられないと明確に発言していただきたい。

(稲見委員) 11月定例会の会議録についてはこれでよいが、今後も私たちが議論した内容をきちっとまとめていただき、会議録を読

む人が誤解することのないように留意していただきたい。

(石田教育総務課長) 会議録については、発言の要旨をわかりやすく記載するのが基本であるとする。その前提として、教育委員会事務局としては、教育委員の質問等に対して明確に答えるということが重要であるため、今後は明確に答えるよう留意する。

委員長が平成25年11月定例会の会議録について委員に諮り、全員一致で承認された。

\*\*\*\*\*

#### 4 審議事項

##### (1) 報告事項

###### ア 教育総務課報告事項について

○ 石田教育総務課長が次のように報告した。

三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について報告する。緑が丘小学校に教材備品として和太鼓を寄附された久保田美穂さんに感謝状を贈呈した。

次に、平成26年度三木市高齢者大学学生募集要項の変更について報告する。入学要件に、老人クラブやボランティア活動に参加している人又は3年生修了時までに参加する人という事項を追加するものである。地域活動の核となる指導者の養成に取り組むことも高齢者大学の設置目的であるため、これを入学要件に明記するものである。変更後の入学要件については、平成26年度に高齢者大学に入学する方から適用する。

(水島委員長職務代行者) 高齢者大学の入学要件が変更され、老人クラブやボランティア活動への参加が要件に追加されるが、学生の募集時にレポート等の提出を求めるのか。

(木村市民協働課長) レポート等の提出は求めない。

(水島委員長職務代行者) 兵庫県高齢者大学では、募集時にレポートの提出を求めている時期があり、そのレポートの内容によって入

学できないことがあったようである。過去にはレポートの提出に加えて、授業料の値上げがあったこともあって、応募者が減り、学生の募集に苦勞しているようである。三木市では、入学要件の変更によって、応募者の減少につながらないか。

(木村市民協働課長) 入学時に老人クラブやボランティア活動に参加していなくても、3年生修了時までには参加してくださいという要件であるため、厳しい要件ではないと考えるが、今後、応募者数の動向等を見ながら、検討したい。

(松本教育長) 補足する。三木市高齢者大学においても、以前はレポートの提出を求めていたが、応募者が減少し、レポートの提出が応募者の苦痛となっている実態があったため、レポートの提出を廃止した。また、大学自治会の役員を引き受ける学生が少ないため、入学願書の提出時に自治会役員をお願いするという実態があったが、これも廃止した。現在では、これらの廃止や募集期間の延長等により、応募者は増えている状況である。しかしながら、学生が老人クラブに入会せず、また高齢者大学の卒業生がグループを作り、ボランティア活動等をされているが、そのグループと老人クラブとがうまくいってないという状況もあったりする中で、個人の趣味のために高齢者大学へ市の予算を使うのかという市民の声がある。そこで、市としては、地域活動の核となる指導者の養成に取り組むことも高齢者大学の設置目的の1つであることから、これを入学要件に明記することとした。

(里見委員長) 自分の趣味に関しては熱心に活動するが、地域の活動に関しては熱心でない方に、いかにして地域の活動に参加していただくかということは、大変難しいところである。

(木村市民協働課長) 老人クラブでは花を植える活動や奉仕活動など活動の範囲が幅広く、できれば自分の趣味を中心に据え、そこから他の活動へ広げていきたいという方もおられる。高齢者大学の卒業生の中には、そのような考えでグループを作っている方がいる。そのようなグループは、趣味だけではなく地域の活動もされており、会員数が減少している老人クラブと連携して、地域を支

えていただけるような方向に持っていきたいと考えている。

イ 学校教育課報告事項について

○ 古谷学校教育課長が次のように報告した。

第9回定例校園長会を12月4日に実施し、いじめ防止対策推進法と基本方針により学校が実施すべき施策、三木市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査、平成26年度教職員人事異動事務等などについて周知した。また、平成25年度全国学力・学習状況調査の結果の公表について通知した。主要行事については、第2回三木市学力向上推進委員会を11月25日に実施し、全国学力・学習状況調査の結果をどのように活用するのか等について協議した。また、教育委員学校訪問・研修を11月28日に実施した。さらに、第4回よつば会を11月29日に実施し、参加者は1名であった。今後の予定については、第2学期終業式を、幼稚園は12月20日、小・中・特別支援学校は12月24日に、また第3学期始業式を、小・中・特別支援学校は1月7日、幼稚園は1月8日に実施する予定である。さらに、第5回よつば会を1月31日に実施する予定である。

次に、平成26年度の幼稚園、小、中、特別支援学校における式典の日程を一覧表のとおり報告する。

次に、いじめ防止対策推進法が9月28日から施行したことに伴い地方公共団体・学校が実施すべき施策について報告する。地方公共団体が実施すべきことは、①地方いじめ防止基本方針の策定、②いじめ問題対策連絡協議会の設置、③いじめ防止等の対策を実効的に行うようにするための教育委員会における附属機関の設置、④重大事案が生じたときのいじめを調査するための組織の設置及び地方公共団体の長における再調査のための附属機関の設置、の4点である。これら4点について、三木市教育委員会としての対応を検討した結果、①については、三木市子どものいじめ防止に関する条例を地方いじめ防止基本方針とすること。②については、みきっ子未来応援協議会家庭・地域・学校教育部会をいじめ問題対策連絡協議会とすること。③については、三木市では教育委員会といじめ防止センターが連携して、いじめ防止等の対策を実効的に行うため、附属機関の設置までは必要ないこと。④については、重大事案に対する調査は、教育委員会といじめ防止

センターが連携して行うこと及び市長の附属機関として子どものいじめ対策専門委員会を設置していること。以上のことから、三木市教育委員会としては、この４点については三木市子どものいじめ防止に関する条例を改正しないこととし、同条例に基づいた対応は、いじめ防止対策推進法に沿ったものであると考える。また、学校が実施すべきことは、①学校いじめ防止基本方針の策定、②学校におけるいじめ防止等の対策のための組織の設置、の２点である。これらについては、１２月の校園長会及び校園長研修会で説明し、基本方針の策定と組織の設置を各校に依頼したところである。なお、いじめの定義については、いじめ防止対策推進法の定義と三木市子どものいじめ防止に関する条例の定義が異なっているため、法律の定義に整合させるよう、条例改正の方向で調整中である。

次に、全国学力・学習状況調査の結果の公表について報告する。各学校に通知したものを机上に配付している。前回の教育委員会において、わかりにくいという意見があったため、内容を整理した。また、前回の案では、正答率が低い問題のみ記載していたが、正答率が高い問題も記載している。

(里見委員長) 平成２５年度の全国学力・学習状況調査結果の公表資料が示されたが、各学校の数値が記載されていないため、一般市民からは、これで何を公表したことになるのかという声もあると考える。そのような声に対して、全国学力・学習状況調査結果の公表によりどのようなメリットがあると説明するのか。

(古谷学校教育課長) 結果の公表により市全体の学力の状況がわかるということがメリットであると考えます。また、平成２５年度の国の要領では、市教育委員会において各学校の数値を公表することはできないとされていたが、平成２６年度の国の要領では、市教育委員会において各学校の数値を公表することができるように改正されている。

(稲見委員) 市民にできるだけわかりやすい公表方法を検討すべきである。

(里見委員長) 国の要領の改正を受けて、三木市は、平成26年度全国学力・学習状況調査の結果をどのように公表するのかという方針を早く決めなければならない。

(松本教育長) 国の要領はすでに改正されているため、平成26年度の三木市の公表方針を検討し、教育委員会に提案したい。

ウ 教育センター報告事項について

○ 梶本教育センター所長が次のように報告した。

教育センターの事業については、11月21日から11月28日にかけて、専門研修講座を3講座開催した。教育相談については、電話が129件、面接が73件、合計202件であった。青少年悩みの相談については35件、発達教育相談は3件であった。不登校対策適応教室事業については、11月28日に調理実習を開催し、12月5日、9日、12日に生徒の在籍校への通級状況報告を行った。今後の予定については、専門研修講座を12月25日に1講座開催し、市民講座として中高年コンピュータ教室を12月20日まで開催する。適応教室については、12月24日に通級を終了し、1月7日から3学期の通級を開始する。

青少年センターの事業については、11月29日と12月13日に通学時の立ち番を行った。また、11月21日から12月19日まで、白ポスト内の有害図書の回収及び巡回パトロールを8回行った。さらに、人の目の垣根隊員と学校及び青少年センターとの意見交換会を小学校区ごとに随時行っている。11月30日には、北播磨青少年健全育成関係機関・団体合同研修会を三木南交流センターにおいて実施した。12月16日には、北播磨補導委員会連絡協議会統一行動として、全補導委員154名が深夜補導を行った。今後の予定については、12月25日から28日まで、全補導委員による年末特別補導を実施する。また、1月9日から11日までにおいて戎神社の特別補導、1月12日に成人式の特別補導を実施する。

エ 文化スポーツ振興課報告事項について

○ 松村文化スポーツ振興課長が次のように報告した。

12月7日にスナッグゴルフペア大会を三木ホースランド緑の

広場で開催し、小学生以下の子どもとその保護者、27組54人が参加した。同じく12月7日には、国史跡指定記念シンポジウム及びウォーキングを実施した。シンポジウムについては、三木市文化会館小ホールを会場として、1部は講演で、水野奈良大学名誉教授の基調講演及び小林大手前大学教授と宮田三木市文化財保護審議会委員の事例発表があった。2部については、4人の市民パネラーでパネルディスカッションを実施した。入場者は、700人であった。ウォーキングについては、神鉄恵比須駅を出発し、秀吉本陣、竹中半兵衛の墓をめぐり、三木市文化会館までのコースで実施した。参加者は、268人であった。また、シンポジウム及びウォーキングの参加者へのおもてなしとして、演劇セミナーと甲冑クラブの協力による秀吉本陣跡での寸劇及びシンポジウムの会場入口での武者姿での出迎えを行うとともに、ハーブ産業協議会によるバジルパスタ、三木観光協会による鍛冶屋カレー、エプロン三木による出世うどんの提供を行った。さらに、レモングラスティーや三木合戦ジャンパーなど特産品の販売を行った。

今後の予定については、1月12日に三木市文化会館大ホールで第66回三木市成人式を実施する予定である。対象者は平成5年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた方で、男性が419人、女性が377人、合計796人である。また、同じく1月12日に三木総合防災公園で三木市民駅伝競走大会を実施する予定である。小学5・6年生男子の部、小学5・6年生の女子の部、一般男子の部、一般女子の部の4部門で実施する予定である。

(稲見委員) 国史跡指定記念シンポジウムは非常に盛況で、大変良かったが、これに対してはどのような意見があったか。

(松村文化スポーツ振興課長) 大変良かったという意見を多く聞いている。

(稲見委員) 私がある会合に出席したときにも、シンポジウムは大変良い企画であったという声を聞いている。また、市役所のすぐ近くにある鷹尾山城を見学等ができるように整備することはできないかという意見も聞いている。金物まつりには市外の方も多数来



られるため、鷹尾山城であれば金物まつりに来た人たちも立ち寄ることが可能であり、多くの人に見ていただけるのではないかという意見であった。

(井口委員) 国史跡指定記念シンポジウムは、大変良かった。武者姿によるお出迎えや物産品の販売についても、各種団体や市民の方にご協力いただき、市をあげて盛り上げていこうというイベントとなり、大変素晴らしかった。一方で、国史跡に指定された付城跡にオートバイの残がいかが投棄されていた。史跡を見学に来られる方もおられる状況で、このようなことは非常に残念なことである。

(松村文化スポーツ振興課長) 現地を確認し、早急に撤去する。

(里見委員長) 国史跡の指定を受け、どんどん三木に人を呼び込もうという状況で、広大な付城跡群をどのように管理していくのかということとは大きな課題であるため、検討していただきたい。

#### オ 図書館報告事項について

○ 告野図書館長が次のように報告した。

新設図書館の設計打合せの第11回目を12月6日、第12回目を12月18日に行った。現在、実施設計の段階であり、構造計算、案内サインの位置確認、費用の積算等を行っている。今後の行事予定については、冬休みのイベントとして、12月25日に三木市立図書館視聴覚室において、アニメ「忍たま乱太郎」を上映する。また、新春イベントとして、図書館ともの会・三木との共催で、1月13日にビブリオバトル（書評合戦）を三木市立図書館において実施する予定である。ビブリオバトルとは、本の紹介を行い、その紹介を聞いて読みたくなった本に対して参加者が投票を行い、その投票数を競うものである。人と本、また人と人とをつなぎ、コミュニケーションを促進するねらいもあり、初めて実施するものである。さらに、同じく1月13日に、ムジカドルチェさんによる絵本と音楽のライブを三木市立図書館において実施する予定である。

次に、新設図書館建設の進捗状況について報告する。これまで

の経過については、平成25年5月16日にプロポーザルの最優秀者として株式会社佐藤総合計画関西事務所を選定した。6月6日には同社と設計業務委託契約を締結し、6月12日から12月18日までの間に設計打合せを12回行った。打合せの主な内容については、①文化会館駐車場、金物まつり等に配慮した建物位置の確定、②書架の配置、各部屋の用途確認、③利用者の動線に配慮した諸器具、案内サインの配置、④建築、設備、備品の各工事区分の調整、⑤労務費、建築資材費の上昇及び消費税増税等に対する対応の5点である。今後の予定については、平成26年2月に建築、電気設備、機械設備の各工事の入札を行う予定である。3月には建築工事のみ工事請負契約締結の議案を議会に提案し、議決後、4月には工事に着手する予定である。平成27年3月には工事が完成し、4月から7月までの間に移転準備、開館準備を行った上で、7月に開館の予定である。

(里見委員長) ビブリオバトルは、大変興味深いイベントである。何人程度の参加を見込んでいるのか。

(告野図書館長) ビブリオバトルは試行的に実施するものであり、参加者数はつかんでいない。内容としては、1人5分で本の紹介を行い、参加者が読みたくなった本に投票し、その後みなさんで感想を述べ合うものである。

(里見委員長) 新設図書館の建設については、建築資材の価格や労務費がどんどん上昇している中で、すんなり落札されるのか大変心配である。

(松本教育長) 建設費については、債務負担行為を含め、5億2千万円を計上しており、建築資材の価格や労務費の上昇した分を上乗せすることもできないため、大変苦慮している。また、建設基本計画において事業費を5億2千万円としているが、これは建築のみの費用であり、書架等の備品の費用を加えるとさらに金額は増えることとなる。

(里見委員長) 新設図書館の運営については、ボランティアによる支

援や司書の配置等、どのようなことを検討しているか。

(告野図書館長) 現在の図書館でも進めているが、ボランティアによる業務支援をより充実させたいと考えている。

(里見委員長) 当初、平成27年1月に開館する予定が、7月に延期となったが、なぜ開館時期が7月となったのか。

(告野図書館長) プロポーザルを行うこととしたため、それに要する期間だけ延期となり、開館時期が平成27年7月となった。

(里見委員長) プロポーザルを行うこととしたために開館時期が延期となったとしても、なぜ7月に開館しなければならないのか。もう少し余裕をもって開館時期を9月などにしてはダメなのか。

(松本教育長) プロポーザルを行うこととしたことに加えて、7月には市制記念日があり、それに合わせて開館するということも考えているため、開館時期を7月とした。

\*\*\*\*\*

## 5 その他

### (1) 次回定例教育委員会の開催日時について

委員長が、次回の定例教育委員会の開催予定日時について諮り、平成26年1月23日(木)、午後2時から開催することを決定した。

\*\*\*\*\*

## 6 閉 会

委員長が、平成25年12月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。